

# きゅうしょく 1月 給食だより

令和8年1月  
瀬戸内市学校給食調理場



新年あけましておめでとうございます。

今年度も、残すところあと3か月となりました。引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、魅力ある給食作りに努めていきたいと思います。本年もよろしくお願ひ致します。



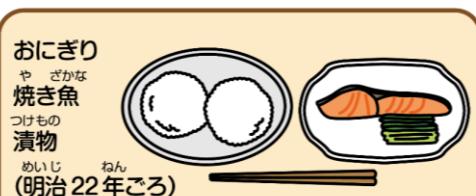
1/24~1/30は  
「全国学校給食週間」です

にほん がつ こう きゅう しょく  
日本学校給食のあゆみ

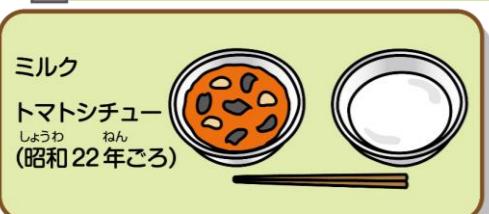


## 学校給食の始まり

明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。



## 支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。



## バラエティー豊かな献立内容に

昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したこと、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンを中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実してきました。

## 知っていますか?「100年フード」



「100年フード」は文化庁による取り組みで、地域の風土や歴史・風習の中で個性を活かしながら創意工夫され、世代を超えて受け継がれてきた食文化を地域の誇りとして100年を超えて継承していくことを目指し、認定するものです。江戸時代から続く郷土料理の「伝統の100年フード」、明治・大正に生まれた食文化の「近代の100年フード」、「目指せ、100年!」の「未来の100年フード」の部門があり、これまでに300件の食文化が認定されてきました。

そこで、今年の学校給食週間は、この「100年フード」を献立に取り入れ、全国各地の郷土料理や食文化を紹介しています。



「100年フード」とは?

文化庁では、我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く文化「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していくことを目指す取り組みを推進しています。

これまでに300件の食文化が認定され、認定後は、各種メディアで認定団体の活動が多くの取り上げられたり、ロゴマーク入りの商品が販売されるなど、100年フードの取組は全国に広がりを見せています。



100年フード

文化庁のホームページでは、すべての「100年フード」を見ることができます。

「100年フード」を見るることができます。

## 学校給食週間中の特別献立(100年フード)

ほっかいどう  
北海道

とまこまい  
苫小牧カレーラーメン



とやま  
富山

ひみ  
氷見のぶり食文化(ぶり大根)



おかやま  
岡山

つやま  
津山の牛肉料理(そずり鍋)



ひろしま  
広島

かいぐん  
海軍ゆかりの食文化(ビーフシチュー)



ふくおか  
福岡

とり  
鶏ばっかけ



瀬戸内市は、ふるさと納税を活用し、給食への地場産物の購入・環境に配慮した農業の普及、こども食堂の運営支援などに取り組んでいます。



「食のしあわせプロジェクト」で寄附をいただいた企業を紹介します(令和6年11月～令和7年11月)

木徳神糧株式会社

株式会社みゆきやフジモト

生活協同組合おかやまコープ。

三宝ウエルネス

ZEROUM

MEIKO

ボイリク

Tinc.

備前日生信用金庫

きゅうしょく  
せいいせんやさい  
じばさんりつ  
給食の生鮮野菜の地場産率  
じゅうりょう  
(重量ベース)  
令和7年11月  
瀬戸内市産  
岡山県産(瀬戸内市産を含む)  
16.4%  
29.3%